

第 25 期第 8 回運営委員会 議事録案

日時：2010 年 10 月 31 日 18:00～21:00

場所：沖縄県市町村自治会館 4 階 第 7 会議室

出席者（総数 18 名、定足数 11 名、出席者 14 名）

会長：津田敏隆、副会長：家森俊彦

運営委員：清水久芳、石井守、篠原育、塩川和夫、長妻努、山本衛、齋藤昭則、阿部琢美、
畠山唯達、坂野井和代、河野英昭、村田功、（欠席：小田啓邦、木戸ゆかり、吉川一
朗、堤雅基）

議事

1. 前回議事録の確認（第 25 期第 7 回運営委員会、臨時運営委員会(9 月 21 日)）

前回議事録を確認・承認した。

2. 協賛・共催関係（清水）

以下の協賛・共催・後援を承認した。

(1) 協賛：第 23 回専門講習会「高出力レーザー応用最前線」（(社) プラズマ・核融合学会）
2011 年 1 月 13 日 大阪大学レーザエネルギー研究センター（大阪府吹田市）

(2) 協賛：Symposium on Underwater Technology 2011 and Workshop on Scientific Use of
Submarine Cables & Related Technologies 2011（東京大学生産研究所、東京大学地震研究
所、IEEE/OES Japan Chapter、海洋研究開発機構(JAMSTEC)）

2011 年 4 月 5 日—8 日 東京大学生産研究所（東京都目黒区）

(3) 後援：オーロラ講演会 [全国オーロラ講演会]（東北大学オーロラ研究会）

2010 年 12 月 28 日 せんだいメディアパーク（仙台市青葉区）

(4) 後援：科学ライブショー「ユニバース」特別番組 [全国オーロラ講演会]（財団法人 日
本科学技術振興財団・科学技術館）

2010 年 12 月 25 日 科学技術館（東京都千代田区）

(5) 協賛：第 2 2 回研究成果発表会（海洋調査技術学会）

2010 年 11 月 25 日-26 日 海上保安庁海洋情報部（東京都中央区）

(6) 共催：JpGU SGEPPS 関連セッション

番号 代表コンビーナ タイトル

宇宙惑星科学(P)

002 杉山 徹 宇宙プラズマ理論・シミュレーション

011 長谷川 洋 磁気圏構造とダイナミクス

012 徳丸 宗利 太陽圏・惑星間空間

018	菊池 崇	宇宙天気 (国際)
080	塩川 和夫	CAUSES-II/ISWI 国際シンポジウム (国際)
106	菊池 崇	宇宙天気
115	小川 泰信	磁気圏-電離圏結合
140	坂野井和代	大気圏・電離圏
102	Danny Summers	内部磁気圏研究の現状と展望 (国際)
大気海洋・環境科学(A)		
084	杉田 考史	成層圏過程とその気候への影響
154	佐藤一敏	衛星測位 (GNSS) を用いた大気・電離圏の研究動向 (国際)
12	入江仁士	大気化学
固体地球科学(S)		
005	宇野 康司	地磁気・古地磁気・岩石磁気
016	多田 訓子	電気伝導度・地殻活動電磁気学
022	小田 啓邦	Magnetic imaging and modeling: Planetary- to nano-scale (国際)

領域外・複数領域(M)

152 林 寛生 地球惑星科学における国際的データシステム (国際)

・現時点で、JpGU のセッション提案：174 そのうち国際セッション提案：43 件

・来年度から、JpGU からセッション提案の公募が出た時に、共催にしたいセッションは運営委員会に連絡してもらうようにする。

3. 入退会審査 (清水)

(1) 入会：学生 5 名、一般 2 名を承認した。

正会員 (学生)：栗城麻由 (所属：東京工業大学、紹介会員：本蔵義守・松島政貴)

正会員 (学生)：高野裕一郎 (愛媛大学、近藤光志・清水徹)

正会員 (学生)：柳瀬晴代 (福井工業大学、中城智之・青山隆司)

正会員 (学生) 永野達也 (茨城大学、長妻努・河野英昭)

正会員 (学生) 高木聖子 (東京大学、岩上直幹・吉川一郎)

正会員 (一般) 並木則行 (千葉工業大学、今村剛・寺田直樹)

正会員 (一般) 池田昭大 (九州大学、湯元清文・吉川顕正)

(2) 退会申請：3 件

・長島一男会員 (逝去)・三浦保範会員：承認

4. 選挙関係 (山本・清水)

・副会長、評議委員、運営委員の選挙日程の確認

立候補〆切：11 月 12 日、選挙の公示：12 月 1 日

投票〆切：1月14日、開票：1月18日

5. 会計関係

5. 1. H21年度決算報告について（阿部）

- ・決算報告資料を配布。

5. 2. H23年度予算案について（阿部）

- ・予算案を資料に基づいて説明
- ・EPS、アウトリーチの予算は、科研費が採択される前提で作っている。
- ・MMB 会員管理システムのバージョンアップが行われる。入会の承認は、従来通り、運営委員会で承認してから入金を確認せずに MMB 上で承認処理をする。

6. 助成関係

6. 1. 国際学術交流事業の審査（山本）

- ・ Tamara W. D. Worzewski 氏（ドイツ）の CA 研究会参加（2011年2月12-19日）の助成を承認した。日当・宿泊費の金額は個別に相談して決定する。

6. 2. 東レ科学技術賞など（山本）

- ・8-9月に行った審査を簡単に報告

7. 秋学会関係（山本）

7. 1. 来年度の秋学会開催場所

- ・10月31日の時点で262名の参加。
- ・参加学生数に比べて学生会員が少ない。なるべく会員になるように周知するように総会で周知する。
- ・来年度の秋学会は神戸大学に決定した。平成23年11月3-6日に4会場を仮予約済。

8. アウトリーチ活動（長妻・畠山）

- ・アウトリーチは久茂地公民会館で開催。来場者は193名（名簿に書いた人）。全体で200名くらい。今回は小中学生をメインターゲットにして、4万枚のピラを那覇市内の小中学校に児童の数だけ配布。1人1枚持って帰れるようにしないと親御さんの目に触れないので注意。人が多すぎてマンパワーが足りなかった。小学生は長い話は飽きてしまう。
- ・記者発表は、口頭で事前に各社に頼んでおく必要があるだろう。
- ・アウトリーチ活動に貢献した人が記録に残るようにすべき。SGEPSS の Web に載せるようにする。感謝状を出すことを検討してはどうか？
- ・来年の科研費を申請するように準備中。
- ・衛星設計コンテスト 最終審査会：11月20日（静岡）

審査委員：國分征会員、実行委員：津田敏隆会長、長妻努会員、企画委員：中田裕之会員

9. 男女共同参画関係について（長妻・坂野井）

- ・男女共同参画の Web アンケートが 200 くらい集まっている。もう少し周知するようにする。
- ・10月7日に学協会連絡会の会合があり、SGEPSS の活動に関して報告した。
- ・秋学会での保育室の利用は3家族。

10. Web・メーリングリスト関係（堤・齊藤）

- ・サーバーを変えたい（価格が高くサービスが限られているため）。契約は年度で行っている
- ので、来年度に交換。URL は変わらないようにする。

11. EPS 関係（斎藤・石井・津田）

11. 1. JpGU と EPS 誌の関係について（石井・津田）

- ・ロゴ入れの依頼があった。受け入れることにする。総会で紹介する。
 - ・JpGU では review 的な雑誌を出す方向で話が進んでいるが、財源がない。EPS は review は出さない
- ので、その場合はぶつからない。
- ・EPS の科研費を準備中。また申請する。科研費の実地検査があったが、特に問題は指摘されなかった。

12. 科研費細目の見直し（津田・山本）

- ・資料に基づいて説明。
- ・5年ごとに見直し。今回は10年目に当たるので大きな見直し。「超高層」を変更することはなくなったが、細目をどうするか、議論が必要。
- ・科研費で雇用されている PD は、自分を代表者として科研費を申請することができない、という基準が学振から出ている。それに対する大学の対応がまちまちである。東大、阪大（理学系）、東工大（理学系）など申請が可能な大学もある。

13. 総会関係（津田・山本）

- ・討議事項：メールで配布したものを確認。
- ・役割分担を決定した。

14. 広報（河野）

- ・次号の会報は12月14日原稿〆切、1月21日会報配達。内容を確認した。
- ・名簿印刷は1月31日までにMMBを更新してもらうように会報に載せた。
- ・名簿の作成に関して、プロアクティブに見積もりを依頼してみる（塩川・清水）。

15. その他

- ・日本学術会議の大型研究計画の公募（12月22日〆切）が出ている。昨年度の公募で出てきたものは全分野で43件。このうちの一部は文科省により予算化された。海外に対する説明のために、学術の進展のロードマップを作る目的もある。地球惑星関係は、地球惑星科学連合（JpGU）で11月15日〆切でいったんとりまとめ、12月4-5日にヒアリングを行って調整してから学術会議に提出する方向。なるべく分野内でとりまとめた形で出していくようにする。

- ・将来の惑星ミッションを見据えて、惑星科学会とのつなぎをするために、惑星探査分科会を立ち上げてはどうか、という議論が出ている。気象学会も関わるかもしれない。

16. 次回運営委員会

- ・平成23年2-3月（次期運営委員会との引き継ぎ）

（塩川和夫）